

それは愛情が冷え切
互いを尊重する“新

った“最悪の関係”か
しい形”なのか——

新時代
われらの

NO.1089



=====
寿命が延びると、夫婦の時間も長くな
る。しかも、増えるのは子供が巣立ち、
夫が定年を迎えた後の「ふたりきり」
の時間——死がふたりを分かつまで結
婚当初の気持ちのまままでいられるわけ
もなく、愛情の形が変わるように、夫
婦の在り方にも選択肢が増え、多様化
している。そんななか「仮面夫婦」の
可能性についてひもといていく。
=====

夫婦の**新** 「仮面夫婦」

終着点 が悪くない」



離婚するにも経済的・精神的・
対外的な不安がつきまとう。

も朽ち果てる危険がある。しかも熟年離婚は夫婦だけではなく、家族を巻き込む骨肉の争いになることも多いと近藤さんが続ける。

「熟年離婚は当事者の子供が口を出して感情的に対立し、無駄に長引くケースが少なくない。一方が親類や子供を味方につけようと、謀略を図ることもあり、ます」

子供たちが独立した3年前、「妻を卒業したい」との思いで5才年上の夫に離婚を申し出た京都府在住の吉川恵さん（仮名・55才）は離婚後に厳しい現実に向した。

「典型的な昭和男の夫は申

新時代に

千葉県在住の武藤貴子さん（仮名・56才）もこう嘆息する。

「育児も家事もなにひとつしてくれない夫への愛情は結婚後だんだんと薄れていきました。このまま一生、夫の面倒を見るのかと思ったら発狂し

し出に納得せず、『ふざけるな!』と怒鳴ったり、『考え直せよ』と猫なで声になったりで本当に大変でした。親戚や同僚、共通の知人まで使って離婚を考え直すよう圧力をかけてきて、あまりに未練たらしいので余計に嫌悪感が募ったほど。なんとか離婚は成立しましたが、離婚後の生活は想像以上にハードでした。夫の財産は雀の涙ほどで、不貞などがあつたわけではないから慰謝料などもなく、私はパートで働くことに。最初こそ自分だけの生活にウキウキしていましたが、収入は安定せず常に生活不安がつきまわっています。夫のおかげで安定した暮らしができていたなんて悔しいですが、夫への不満も目につぶれるところがあつたかもと離れてみて気づいたのは事実です」

夫婦の10組に1組が「仮面夫婦」
「気がついたらなっていた」ケースも増

熟年離婚をめぐる理想と現実が交錯するなか、夫婦で歩む老後の「第三の道」として再認識されているのが「仮面夫婦」だ。

朝日新聞で5月下旬から約1か月間連載された『仮面夫婦 別れぬ理由』は、仮面夫婦のリアルを浮き彫りにして話題を呼んだが

「現実的な形だ」とわが身を振り返ったのは埼玉県在住の新川美香さん（仮名・52才）だ。

「連載では仮面夫婦の悲哀が書かれていましたが、その姿はうちの夫婦そのものです。そして私はいまのスタイルに不満を感じていません。夫は若い頃、職場の

部下と「不倫未満」の疑いがありました。深くは追及しませんでした。きつと1度や2度、関係はあつたはずで。それでも、私は夫と別れようとは思いませんでした。いざとなればと多少の「証拠」はいまも持っています。派遣社員しかしたくない私の貯金

そうに。離婚を決意した友人たちに背中を押され、昨年、離婚が成立しました。夫は離婚にも淡泊で、財産も年金も法定通りきっちり分けてくれて、なんの諍いいさかもなかった。

そして離婚から1年経つたいま、後悔しているのは私の方です。いたらないでうつとうしいと思っていた夫がいらないひとり暮らしは心細く、台風之夜や、明け方の地震はパニックになってしまいます。育児も家事もしてくれなかったけど、夫の安定した給料があったからこそ生活に不安を感じなかったんだとも痛感しました。娘からは、『私が結婚してもパパは結婚式に来ないかもね』とさみしそう

夫婦の10組
「気がついたら」

もし孤独死したらどうしようという不安も尽きません、家族という形を崩さずに、できることがあったはずだといまさらながらに思っています」

あまたの困難を乗り越えて離婚が成立した先に、いばらの道が待つこともある。「経済的なハードルをクリアしても、単身の高齢者は賃貸契約の審査が厳しく住まいが確保できないリスクがあります。年齢を重ねると体力と気力が衰えて、おひとりさまになって社会的に孤立する危険も否めません。独立して家庭を持つ子供に連絡を取ることを、迷惑になるから」と控えて、数か月誰ともしやべってないという独居老人も珍しく

に1組が「仮面
らなっていた

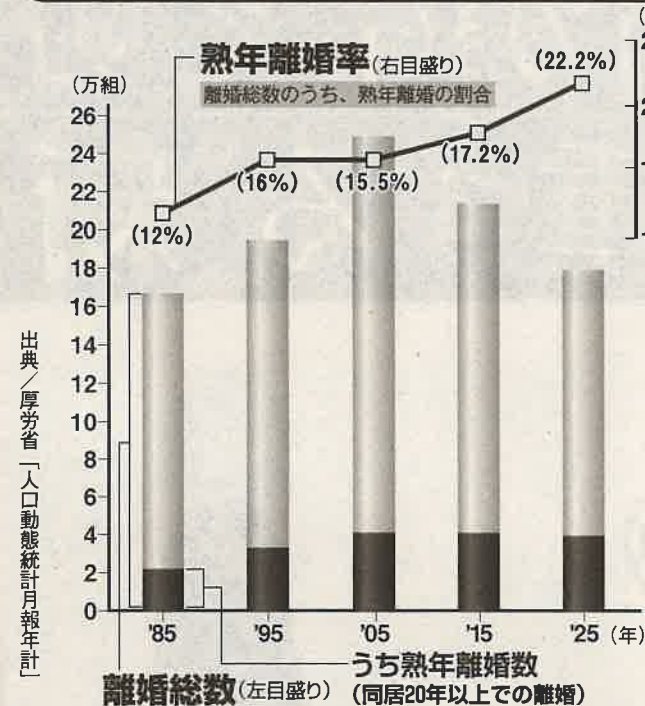
ありません」(石村さん)

25年にわたる結婚生活の末、作家の井上ひさしさんと熟年離婚した日本人子守唄協会理事長の西館好子さんが振り返る。

「当時は社会の中で孤立し経済的にも困窮しました。私は元夫にべったりしすぎていたから、離婚後、自分はどう生きるのかという問いを突き付けられたうえ、家族や仕事、環境や財産など、それまで背負っていたものを全部捨てるのは難しく、その後の人生で長く引きずりました。それでも大変だった私に力を貸してくれた人も少なからずいて、離婚後に、孤立せず自立する、ことの難しさや厳しさを痛感しました」

大婦
ケースも増

同居20年以上の熟年離婚割合は増加



厚労省の「人口動態統計」（25年）によると、同年に離婚した夫婦のうち、同居期間が20年以上だった「熟年離婚」の割合は22・2%と、統計のある194

7年以降で過去最高となった。そもそも、近年の熟年離婚の割合増加の背景について、要因のひとつに「人生の区切り」を挙げるのは、精神科医の樺沢紫苑さんだ。

熟年離婚は「制約から解放」と同時に心身や生活に不安とストレスを与える

離婚件数が横ばいで推移するなか、昨今「熟年離婚」の割合が増えたことが注目されている。その背景には、高齢化や女性の就労率の増加、離婚がタブーでなくなったことなどがある。長寿化が進み、残りの人

生を過ぐすつゝえて熟年離婚という手段が現実的になつた一方、熟年離婚を思いとどまり、パートナーへの愛情はないものの形式上は夫婦関係を保つ「仮面夫婦」を選ぶ人たちがいる。

かつては、冷え切つた関

係や夫婦關係の成れの果てと擲擲され、ネガティブなイメージが強かったが、いまや老後をよりよく生きる方法としてあえて選択する人が増えている。仮面の下には何が隠されているのか。

一世の女性が熟年離婚に踏み切るのは、子育てが一段落して肩の荷が下りたタイミングです。それまで自己犠牲的に献身したけど、子供が独立したから自分らしい人生を生きようと考ええる余裕ができ、夫婦で別の道を進むことを選ぶ女性が増えたのです」

女性の社会進出が進んだことも決断を後押ししている。東京成徳大学応用心理学部臨床心理学科准教授の石村郁夫さんが語る。

「昔は専業主婦が多く、経済的理由から熟年離婚が難しかった。でもいまは女性の社会進出が進み、パートタイムなどをして蓄えを持ち、たしかに熟年離婚に踏み切りやすい環境になりました」

さまざまなルール改正も

送つてから自分の人生を考えようと思ひ、がまんを続けてきました。しかし平均寿命が長くなり夫も長生きするなら、いつそ離婚して財産分与や年金分割の権利をもらひ、自分はパートで働いて自由な生活を取り戻したいと考えるようになった。がまんより解放を望むようになったことが熟年離婚が増えた理由でしよう」

アディーレ法律事務所の前藤姫美弁護士が続ける。「昔は離婚したら不幸でかわいそうな女性とされましたが、いまは召使みたいな生活から解放された成功者という真逆のイメージで離婚を前向きに考える女性が増えました。

60才や70才でも離婚して元気に働き、年金分割＋パートの収入でセカンドライ

まは社会人の娘が住むマンションに同居してパートで働いています。夫のモラハラから逃れることができて、結婚願望のない娘とともに暮らす毎日は気楽です」

ただし、バラ色の熟年離婚ばかりではない。そこには厳しい現実が待ち受ける。「夫からすれば、いままで自分の通帳に入っていたお金が半分なくなるのだから、**「銭闘」**はすさまじくなります。何十年も同じ釜の飯を食べた人と離婚の調停や裁判で争うダメージは大きく、メンタルをやられて鬱になる人もいます。自分で望んで行動しても、思い通りにならないのが熟年離婚です」(岡野さん)

離婚は結婚の10倍のエネルギーを使うともいわれるだけに、熟年離婚で身も心

熟年離婚を選ぶ女性にとって追い風となった。'07年4月から離婚時の年金分割制度が始まり、今年4月には離婚後2年以内に申し立てる必要があつた財産分与の請求期間が、離婚後5年に延長された。

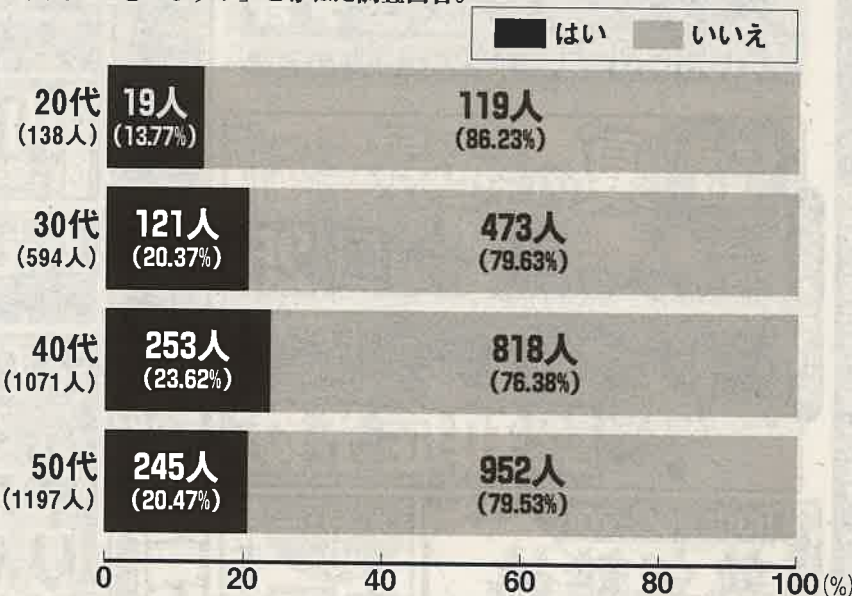
夫婦問題研究家の岡野あつこさんは「女性たちは解放された」と訴える。

「多くの女性はこれまでス

「高齡の義両親には大反対されましたが、長年にわたる夫のモラハラに耐え切れなかった。夫が実家に戻るといので自宅を売却して」

2割前後が「仮面夫婦を自認」

●全国の20～59才以下の既婚男女3000人を対象に「自分たちは仮面夫婦だと思いますか」と尋ねた調査回答。



出典／既婚者マッチングアプリ「既婚者クラブ」

安心感を得られます。結婚して、いざというときにやがていなくなる世間体を維持でき、親戚や身内にも安心してもらえます」(岡野さん)

多様性が認められやすい時代になったとはいえ、それでも人の目は向けられると西館さんが続ける。

「夫婦の問題に他人がとやかく言うことではないですが、見え方と

してどうしても男性は有利で、女性はずいぶん不利な、愚かだね」と勝手に周囲から優越感に浸られる対象にされます。そういったマウンティングから防衛できる」

一長一短あるのが子育てだ。前出の手島さんのように子供を慮って離婚することではなく夫婦を続けることは、確かに子育てにおいて一定の利点がある。

「夫婦間で冷え切っていても父親、母親それぞれと子

「仮面夫婦」は現代を生きる自立した夫婦のひとつの形になりうる

「仮面夫婦」は現代を生きる自立した夫婦のひとつの形になりうる

岡野さんは「仮面夫婦は、夫婦の間に冷え切ることが大前提」と指摘する。

「仮面夫婦は必要な場面では

は親として、社会人としての役割を果たすという意味で、夫婦のフリができる人々です。だから夫婦と

供の関係が維持されていれば、送り迎えなどで協力できます。

シングルマザーで育てるよりはサポートが多少手厚くなり、トラブルが起これば片方がサポートできま

「石村さん・以下同」

一方で、夫婦関係が冷え切っていることは子供の発育に負の影響を与えるリスクがある。前述した石村さんの研究でも、そうした傾向が確認できたという。

「自分の両親は仮面夫婦だと答えた学生は、円満な夫婦のもとで育った学生よりも精神的な健康度がやや低く、自尊心や自分らしさの感覚が低くなる傾向がありました。温かい言葉や感謝といったポジティブな愛情関係がみられない家庭では、両親に加えて子供のメンタルヘルスも悪化しやすくなります」

岡野さんも子供に与える

マイナスの影響を心配する。「両親の仲が悪いと、お父さんやお母さん、お母さんとはしゃべらないようにしよう」などと子供が気を配るような大きなストレスになります。不仲は自分のせいかもしれない子供が自分を責めて苦しむ可能性もあります」

ポジティブな面がある半面、状況を悪化させかねないネガティブな面もある。例えば、仮面夫婦を選択する際は最低限の「防衛策」を講じるべきかもしれない。

「仮面をかぶるなら夫婦で守るルールがあるといい」と指摘するのは石村さんだ。

「食事は別々にする、プライバシーに干渉しない、生活費はいくら入れる、ゴミ出しや掃除担当を決める、といった細かなルールを作っておくことが大事。口約束でなく録音して読み上げれば証拠になり、後で文章化することもできます。お互いの立場を尊重し、意見

がずれたら話し合っ

「近藤さんは弁護士から、将来的に離婚の可能性があるならばやっておくべきことがあると話す。

「特に夫に不貞があった場合、一度は夫婦を続けることを選んでも、不貞の証拠は残しておくべきです。仮面夫婦を続けているうちに夫が浮気した証拠となるメールやLINEが消えてしまえば、不貞の時効を迎えるケースもある。夫が不倫したとき子供がまだ小さいから許してあげただけの夫婦関係を続けてしまったけど、いまにして思えば証拠が残っているうちに離婚しておけばよかったと悔しい思いを抱える女性はいくつかいます」(近藤さん)

自由恋愛を認め合う関係もゼロではない。ただし、その場合にもお互いの合意内容を書面で残しておくことが大切だ。

「20代で結婚し、31才で長男が生まれました。出産後は慣れない育児でストレスがたまり、家事や育児に協力してくれない夫とは怒鳴り合いの大げんか。

でもそのうち、諦めの気持ちが強くなって、夫には期待しなくなりました。毎日ワンオペなのも、夫が休日に趣味のゴルフばかり出かけるのも、夫なんていないもの」と思えばなんともない。

私は息子中心に生活すると宣言し、食事の用意も夫の分はだんだんしなくなり、食事もそれぞれのタイミングです。心配なのは、夫の定年後。昼間から家にいられるのはちょっと気話まりですね」

14年前、同じ病院で医療事務として働く3才年上の夫と結婚した福島県に住む看護師の戸川奈美さん(仮名・55才)だ。

「20代で結婚し、31才で長男が生まれました。出産後は慣れない育児でストレスがたまり、家事や育児に協力してくれない夫とは怒鳴り合いの大げんか。

でもそのうち、諦めの気持ちが強くなって、夫には期待しなくなりました。毎日ワンオペなのも、夫が休日に趣味のゴルフばかり出かけるのも、夫なんていないもの」と思えばなんともない。

私は息子中心に生活すると宣言し、食事の用意も夫の分はだんだんしなくなり、食事もそれぞれのタイミングです。心配なのは、夫の定年後。昼間から家にいられるのはちょっと気話まりですね」

14年前、同じ病院で医療事務として働く3才年上の夫と結婚した福島県に住む看護師の戸川奈美さん(仮名・55才)だ。



夫婦間で決めたことを書面などで記録を残すことが大切。

離婚せず、与えられた「役割」をこなせば貧困リスクを下げ、孤独死を避けられる

く、別にこのままでいいか」という感じだ」(戸川さん)

千葉県在住の手島由香さん(仮名・67才)は30代の頃に夫の浮気により夫婦仲は完全に冷え切ったが、離婚ではなく夫婦関係の継続を選んだ。

「浮気について夫は何度も謝罪してきました。その数年後にもう一度浮気が発覚したので、そこで誓約書を作り次に浮気をしたら慰謝料を払うことなどの内容を盛り込みました。

そうまでして離婚しなかったのはやっぱり子供の存在です。父親がいた方がい

「関係は冷えていても一つ屋根の下で暮らしていれば、孤独死は避けられます。急病になったときに対処してもらえらるのも心強い」(石村さん)

生涯未婚率が高まりおひとりさまが増えても、いまだに「夫婦」であることが求められる風潮は地方を中心に根強く残っている。

「そうしたケースでは、離婚せず夫婦を続けることで

27年連続! 圧倒的な面白さで
女性週刊誌 部数No.1
女性セブン 次号予告
7月16日(木)発売号も企画満載でお届けします!

滝見の達人 厳選
夏の絶景
涼みの滝 全国25
夏ナンプレで 認知症予防
プレゼント付き 大特集

50代、60代、70代 離婚届
熟年離婚
天国と地獄
リアルエピソード

話題の「スキマバイト」にオバ記者も潜入!
3人の経験者がこっそり教える
「タイミー」 60才から
稼げる! 活用完全ガイド

ミドル・シニア世代の登録者増加中
オーバー50の
マッチングアプリ
完全攻略ガイド

次号は 27年連続
女性週刊誌
No.1
スクープも実用情報も夏本番
暑中見舞い 合併号

今年メジャーデビューの人気グループを撮り下ろし!
BUDDiis 撮り下ろし & ランダム ポストカード 付録
ポストカード付録は、全4種のうちいずれか1種がランダムで封入されています。
絵柄は選べません。破損・不良を除く交換は致し兼ねますので、ご了承ください。

山田涼介 撮り下ろし オリジナル ビンナップ
サマージャンボ 必勝 花風水 李家園竹さん監修 宝くじケース

Aえ! group & ACEes
ライブ最速レポ

100均 3COINS ドラッグストア ほかで買える
夏をCOOLに冷やす
安くて涼
ひんやりグッズ
炎天下の外出も怖くない!
達人オススのアイテムを大紹介

いっぱい食べても Noギルティ!
さっぱり! 絶品! 夏餃子20
野菜たっぷりて軽やかに ひき肉を使わずヘルシーに レンチンや包まないデクで時短に...

※今号の懸賞、クイズ、プレゼント、投稿募集などの企画にご応募いただいた皆様のお名前、ご住所、ご連絡先等は、賞品や賞金、謝礼をお届けするため、またお届けに必要な情報の確認等のために利用し、その他の目的では利用しません。皆様からののはがきや原稿、FAXは、抽選後直ちに、当選や採用された方のはがきや賞金、謝礼をお届け後、速やかに断裁いたします。また、投稿募集に関しましては、採用させていただいたもの以外のはがきや原稿、FAXも今後の掲載候補として、外部の目に触れないように編集部で厳重に保管させていただきます。セブンス・キャンプ等については、今後の企画の参考にするため、アンケートへのご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は、個人情報を除いて集計し、はがきは、集計後速やかに断裁いたします。以上、ご応募いただいたすべてのはがきや原稿、FAXは6か月を超えて保有することはありません。また、パソコン・ケータイからの応募の場合はサイト上の規約をご覧ください。



飯面をかぶり、相手との距離感を適切に保つのがコツ。

老後を自由に自分らしく生きられれば、飯面の下の素顔はにこやかになるのか。

と母の役割を担うことが求められます。つまり家庭内でも必要な場合にはフリをした方がいい。モラハラやパワハラ、DVなどの被害が生じたらがまんせず離婚すべきですが、互いに役割をこなして合理的にメリットを享受できれば、したたかな飯面夫婦は最強の関係になります」(岡野さん)

「共働きでお互いに日中は仕事をしているということなら、そもそも接触時間はほとんどないうえに、それぞれ収入があるから経済的な自由もある。家庭内で会話がなくても大きな問題はなく、仕事に行けば気持ち切り替えられます。飯面夫婦になろう、としてなっているのではなく、気づいたら飯面夫婦だったというケースが現代では増えているのではないのでしょうか」(樺沢さん)

文/池田大道 取材/小山内麗香、清水芽々 写真/PIXTA